

いこまタウンミーティングでいただいたご意見等（@中地区R7.5.24）

ご意見等は、「当日の挙手、アンケート用紙、オンラインアンケートフォーム、slido」から記載しています。

NO.	ご意見等	担当課	回答
1	国政とのしがらみや選挙対策への配慮も必要であることは重々承知しておりますが、「利権（特に医療・環境）<実効性>」で施策を進めて下さい。そのためには国・マスコミの情報のみでなく、現在のアメリカの施策に係る情報や様々な科学的知見を市独自に収集していただきたい。eg. 泉大津市の医療に関する取組み	企画政策課	市のまちづくりに関する施策については、EBPM(Evidence-Based-Policy-Making)という「証拠に基づく政策づくり」を、第6次総合計画において行政経営の基本方針と定め、そのもとで、政策実行後も成果を検証し、取組の改善を進めていく政策のPDCAサイクルを確立することを推進しています。 政策・施策立案の過程において、ご意見のとおり、他市町村が実施しています先進的な取組は非常に参考になるものと考えており、今後も情報収集に努めながら、本市でも同様の効果が得られるものであるかといったところも踏まえ、取り組んでいきたいと考えています。なお、本市にも他の自治体の模範となる先進的な取り組みが多数あります。
2	・まちづくりの中で、いろんな障害のある人の声や意見、要望も反映していただきたいです。（バリアフリーの面で） ・生駒駅改札を出たところの案内板（？）が古いし傷んでるので改善してください	・障がい福祉課 ・事業計画課 ・都市づくり推進課	・市のまちづくりにおいては、バリアフリーの面で関係者の皆さんで構成された会議体を立ち上げるなど、さまざまな立場や知見からご意見等をいただきながら事業に反映する手法をもって進めています。また、障がいや障がい者に対する理解を促進するための普及啓発を図り、地域社会でより良い生活が送れる共生社会の実現に向けた取組を進めます。バリアフリーに関するご意見等がありましたら事業計画課（市役所）へご連絡ください。 ・案内板については、令和6年度に生駒駅中央改札口前案内板の左半分と駅南口エリア5か所を更新しました。令和7年度には、中央改札口前案内板の右半分と、駅北口エリア2か所程度を更新する予定です。
3	・あれもこれもでは進まない。商店街から宝山寺生駒山の開発と絞って具体的な進捗報告をしていたき 意見交換の場にしてはどうか	広報広聴課	今回のタウンミーティングでは、令和7年度に力を入れて実施していく施策を中心に地区別にテーマを設定し、中地区においては生駒駅南口のまちづくりと生駒山を活かしたまちの活性化をテーマとさせていただきます。これらの事業については、生駒駅から参道、宝山寺、生駒山と有機的なつながり・連携があり、事業を進める担当はそれぞれ異なりますが、連携しながら事業を進めているところでもあります。今後、それぞれの事業の進捗に合わせて市民の皆さんに報告させていただきたいと考えています。
4	生駒駅前南口のまちづくりについて、他者との交流が希薄化、孤独・孤立が課題となる中、南口は個人商店が多く、昔のように住民と商店の方が身近で話ができるレトロな市場や横丁を作ることはできないか。	都市づくり推進課	南口のまちづくりを進めるにあたり、昭和の横丁のようなまちづくりを望むご意見もいただいています。さまざまなにぎわいの創り方があり、ご意見もあると思います。現状、ご意見いただいたような八百屋や金物屋などの個人商店もあり、昔の市場の風情が残る地域もありますので、地域のご意見も踏まえながら進めていきます。
5	生駒山ふもとは土砂災害のリスクが高く、宝山寺参道は道が狭隘にもかかわらず、車の往来も多い。擁壁も古いものもあり、既存のインフラの整備を進めてもらいたい。	都市づくり推進課	生駒駅南口のまちづくりについては、参道階段部分について、一定道路整備を進めてきたところですが、道が狭く消防車が入れないといった、防災面の課題にもしっかりと向き合いつつ、まちの趣にもプラスになるよう取り組んでいきたいと考えています。なお、現在地元の皆さんと共に景観のルールづくりに向けての取組を進めているところです。観光客の利便性と地域の安全性の両者からプラスになるように進めていきたいと考えています。

NO.	ご意見等	担当課	回答
6	辻町インターチェンジについて、以前、自治会等で説明会があり、辻町としては反対をし、計画が取りやめになったが、その後、東生駒病院裏側に、改めて、住民の反対のうでインターチェンジの計画が進められている。地域の住環境を考えると必要ではないと思うが、市長のご意見を聞きたい。 また、昨年のけいはんな線のトンネルの土砂災害の際、住民が図書会館に避難していたが、そういう地震災害に備えて、私たちの家のまわりに警察署の旧宿舎が残っているので、それを整備して、避難施設として使用できるようにしたらどうかと考えるが市長のご意見をいただきたい。	・事業計画課 ・危機管理課	辻町インターチェンジの建設については、県事業であります。市としても地元の地権者や自治会の皆さんと県と丁寧に関係をいただいているところです。 地元と話をしながら進めるのは当然ですが、国道168号の交通量も踏まえつつ、県としても市としても辻町にインターチェンジが必要だと考えています。しかし、強行に事を進めるのではなく、県の事業だからと言わずに市もしっかりと関わっていき、100点は難しいとは思いますが、地元の方にも合格点をいただける形にしていきたいと考えています。 また、警察の旧宿舎については、県との調整が必要だと思いますが、老朽化が進んでいることもあり、避難所として使用するのは非常に難しいと考えています。避難所については、小中学校の体育館のエアコン設置等を進め、皆さんが安心して快適に利用できるように整備を行っているところです。
7	桜ヶ丘の住民だが、下水道の整備について担当課にも聞いてみたが、費用対効果の面からしばらく整備の予定はないとのことであった。市として、下水道の整備の方針としてどう考えているのか。	下水道課	下水道整備については、下流部から整備することが基本で、現在市の整備率は73%程度になっています。今後人口が減り、空き家も増えていく中、どこまで下水道を整備していくのかといった視点も必要であり、将来的に整備方針の見直しを決断する必要性もあると考えています。また、本市の下水道料金は奈良県下の市の中でも安い方に位置し、合併処理浄化槽の維持管理費の方が下水道よりも高額になっているという現状もあり、不公平感の軽減といったところも求められているところですが、現在、生駒市下水道事業経営審議会を開催し、下水道使用料の改定の議論を進めています。汚水処理の負担については、浄化槽と下水道を問わず、不公平感が小さくなるように検討していきます。
8	生駒駅南口・北口は路上駐車をしている車が非常に多い。おそらく駅前にある塾の送迎によるものであると思うが、二重駐車とされていることもあり、非常に危険である。市として対策を講じてもらいたい。	防犯交通対策課	ご意見については、市としても課題として認識しているところであり、市営駐車場を30分は無料で使っていただけますが、なかなかご利用いただけないこともあり、解消に至っていません。警察に対しても伝えてはいるところではありますが、現場を確認させていただき、必要に応じて駅前周辺の学習塾に対しても要請を行うとともに、警察に対しても巡回の強化等についても伝えていきたいと考えています。なお、今回のご意見を踏まえて、改めて現地調査を行い、近隣店舗への要請など具体的に取り組んでいきます。
9	コミュニティバスを土日祝日も運行してほしい 天理市のチョイソコ天理というコミュニティバスは完全予約制にして、土日祝日もカラ運転が無いようにルートはAIが行っている	防犯交通対策課	本市のコミュニティバス「たけまる号」は収支目標を設定しており、その目標を達成できなければ運行を見直す、というルールで運行しています。土曜・日曜日、祝日の運行は費用が増加し、収支目標の達成が困難になると見込まれることから、今のところ実施は難しいと考えています。参考に市内路線バスの利用実績を使って平日と土曜・日曜日を比較すると、同じ時間帯（9時～18時）で土曜日は平日の8割、日曜日は平日の5割の利用となっています。また、使いたいときに予約し運行するデマンド型の交通も事例はありますが、定時運行を望む声も多く、現時点では今の運行方式で実施していきたいと考えています。 今後もコミュニティバス等の公共交通を通じて皆さんが日常生活を送る上で必要となる活動機会を保障するという考えのもと、他自治体の事例も合わせて、より良いサービスの提供に向け検討を続けていきます。

NO.	ご意見等	担当課	回答
10	先日のタウンミーティングでコミュニティナースの担当課を決められないと副市長から聞いたが、複数の担当課をまたがる場合は、判断出来る職員を育てるか、それまでは市長が副市長が判断して欲しい	－	奈良県の取り組みは、奥大和地域で地域おこし協力隊制度や集落支援員の制度を使って大和地域活力推進課が地域振興の一環として実施しているものです。本市は、地域おこし協力隊等の対象地域ではなく、奈良県のような取り組みと同じ枠組みで実施することはできませんが、福祉・医療・健康の各分野の地域活動として、「コミュニティナース」のほか「まちの保健室」や同種の活動を実施する医療機関・専門職などとの有機的な連携をそれぞれの課で進めていくものと考えています。ですので、担当課を決められない訳ではなく、本市も奥大和地域とは違う形で、地域での医療・健康づくりに取り組んでいます。
11	生駒の商業地、住宅地の活性化のためには、空き店舗、空き家屋をどう活用するかが重要だと思います。防災面からも必要だと思いますが何か考えておられますか。	・住宅課 ・都市づくり推進課	本市では、平成28年に水道使用量を基にした詳細な空き家調査を実施しました。空き家の数は、約1,400軒でしたが、令和5年に実施した空き家調査では、100軒近く減少していました。平成29年に住宅政策室（現住宅課）を設置し、職員が空き家所有者に丁寧にアプローチするなど空き家の利活用を促進する事業に熱心に取り組んでおり、全国の先進事例として国土交通省のモデル事業に幾度も採択されています。一方で生駒市の人口は減少していますが、世帯数は増えています。一人暮らしの方が増えているので、今後は、空き家は増えていくと考えられます。家財道具の片づけができないために流通に乗せられないということもあると思います。空き家を活用して創業するなど、空き家の解消だけでなく地域の活性化に繋がる取り組みをしていきたいと考えています。空き店舗についても、生駒駅南口の整備の中で、地域のさらなる活性化を目指し、空き物件を活用して開業まで支援する、「いこみなチャレンジ」生駒駅南口エリア事業件走プログラムなどの取組を進めています。
12	生駒市に人口を流入させる為に、大阪へのアクセスが良いということ、自然が多い、市と市民が連携しているタウンミーティングを行っているという宣伝をして、なるべく駅近に賃貸を増やせばどうか？	・広報広聴課 ・住宅課	・本市は、大阪へのアクセス・利便性の良さや自然が多く住環境に恵まれた、魅力的なまちであるとともに、市民との協働によるまちづくりを積極的に進めているまちです。こうした魅力を市のPRサイトだけでなく、市民が発信する「いこまち宣伝部」という取り組みで発信しています。これは、行政が主体となって発信するのではなく、市民がまちの魅力を見つけ出し、発信することで、市内外の人たちに共感してもらうことを狙いとし、特に市外に向けては、SNSやホームページでの発信を通して多くの方に見ていただいています。今後もこうした市民との協働による情報発信に力を入れていきたいと考えています。 ・本市への転入を促進する上で、生活利便性の高い駅周辺に、新婚世帯の受け皿となる賃貸共同住宅の立地を誘導することは重要であり、本市の計画にその方針を定め、都市づくりを進めています。また、まちづくりの計画が進む学研北生駒駅北側においては、最適な住宅に住み替えることのできる循環型まちづくりを目標の1つに掲げ、北部地域の拠点形成に取り組んでいます。

NO.	ご意見等	担当課	回答
13	市内小学校防犯体制について、先般息子の授業参観にて正門が自由に出入りできることに驚きました。妻によると、平時から施錠等もなされていないとのこと。正門に電子錠を設置する、警備の方に立ってもらう等、検討できないでしょうか。東京では保護者が知人男性を招き入れた事件もありましたが、これをふまえての議論等あれば伺いたいです。率直に申し上げますと、現状の体制にかなり不安を抱いております。せめて参観のような不特定多数が出入りする際は教職員さんが門に立つ等、ご配慮いただけないでしょうか。平時についても、何らかの抑止力となる対策をお願いしたいです。	教育総務課	子どもたちの安全をまず第一に確保していくことはもちろんです。学校には、特に子どもたちが校内で活動している時間は門を閉めるようお願いしており、また必要な防犯設備をしっかり整備します。参観日などは名札の着用など必要な安全策も講じます。 一方で、地域との交流も大切であり、顔の見える関係づくりを進めています。学校における防犯対策については、保護者や地域の方々の協力を得て、数多くの方々が学校の子どもたちの安全を見守っていただくことが大事だと考えますので、今後ともご協力をお願いします。
14	辻町の住民です。下水道、その地域住民全員の賛成なければできないと聞きました。多数決でできるやうになりませんか？3分の2以上でも良いかと。	下水道課	下水道事業では効率的な下水道整備の方法として、民間開発業者等が布設した污水管をその使用者全員の同意に基づき、公共下水道へ接続する「一斉切替」を行っています。接続（切替）時には、使用者全員に下水道使用料、受益者負担金、下水道接続工事費のご負担が生じますので、慎重な同意形成を図る必要があると考えています。このことから、使用者全員の同意に基づき、一斉切替を実施していますので、ご理解のほどお願いいたします。